

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972100246
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム なごみの里
訪問調査日	平成 20 年 1 月 24 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 4 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100246
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム なごみの里
所在地 (電話番号)	香南市吉川町古川字松ヶ瀬990-50 (電話) 0887-57-3117

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年6月4日

## 【情報提供票より】(19年10月 1日事業所記入)

### (1)組織概要(1月24日現在)

開設年月日	平成 14 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	5 人	常勤 5 人, 非常勤	人, 常勤換算 5 人

### (2)建物概要

建物形態	■併設/単独	■新築/改築
建物構造	RC平屋 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 1 階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	有( 円)	■無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800 円	

### (4)利用者の概要(1月24日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 86 歳	最低 80 歳	最高	96 歳	

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	赤岡医院、今井歯科、同仁病院、愛宕病院	2
---------	---------------------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

眼前に太平洋が広がる総合福祉ゾーンの敷地内に、身体障害者療護施設、デイサービスセンター、ケアハウス、ホームヘルプステーション等の施設があり、そこで働く専門職のスタッフに囲まれたグループホームは大きな安心感に包まれている。日当たりのよい中庭には、高知大学農学部ボランティアの学生が植えた野菜や花が元気に育ち、利用者が収穫している姿が見られる。総合施設のメリットを活かして音楽療法や重度の利用者のケアなどにも取り組み、また、学校の先生の研修を受け入れるなど地域密着型事業所を意識した取り組みもしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>個別の介護計画、プライバシーの保護等の改善課題については、管理者が重点目標を示して職員会で話し合い、期間も定めて改善計画を作成し取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、管理者が職員に説明し、話し合った上で内容をまとめている。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、参加メンバーから報告事項に対して質問、指摘、要望などが単発的に出されるが、双方向的な話し合いに発展することはほとんどない。運営推進会議で評価内容を討議し、改善計画に盛り込み、進行管理の報告等を行うなど運営推進会議を活かした取り組みを期待したい。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者一人ひとりの暮らしぶりについて、職員が毎月手書きの手紙を書き、グループホームの行事に合わせて家族会を開催し、運営推進会議にも交替で家族が出席しているが、特に意見や苦情などは出ていない。苦情箱も設置しているが、苦情が寄せられることはなく、意見が気軽に出来るような工夫が望まれる。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区会には加入していないが、利用者と職員が地域の文化祭、小学校や保育所の運動会、敬老会に参加し、職員が地域の一斉清掃に参加するなど地域との接点を持つ努力をしている。地区会に加入し地域との連携を更に深めることを期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。  <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 法人共通の理念に事業所独自で地域密着型の理念を加えている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  朝礼や月1回の職員会で「理念」について話し合い、特に、「地域に出て行こう」、「地域の行事に参加しよう」という思いを大切にしよう努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。  利用者に笑顔で接し、高齢者に対する礼儀を重んじつつ、他人行儀にならないような距離を保ちながらサービスの提供をしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 地区会には加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  利用者と職員が地域の文化祭、小学校や保育所の運動会、敬老会などに参加している。地域の一斉清掃には職員が参加して地域との接点を持つ努力をしている。	<input type="checkbox"/>	地域の一員として、グループホームの存在感を高めるためにも、地区会に参加し地域との連携を更に深めることを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価については、管理者が職員に説明し、話し合った上で内容をまとめている。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善課題については、管理者が重点目標を示して職員会で話し合い、期間も定めて改善計画を立てているが、まだ不十分なものもある。	<input type="checkbox"/>	まだ改善されていない改善課題について、今後改善計画に基づいた具体的な取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 運営推進会議では、参加メンバーから報告事項に対して質問、指摘、要望などが単発的に出されるが、双方向的な話し合いに発展することはほとんどない。  <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 昨年は報告していない。	○	運営推進会議で評価内容を討議し、改善計画に盛り込み、進行管理の報告等を行うなど双方向的な話し合いに発展する工夫を行い、運営推進会議を活かせる取り組みを期待したい。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  運営推進会議の他には、書類の提出などで市町村担当者を訪問する程度である。	○	ホームから市へ出向き、ホームの様子や実情を知ってもらうなど積極的な取り組みを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 利用者一人ひとりの暮らしぶりについて、職員が毎月手書きの手紙を書き報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 その都度連絡し、日誌等にも記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭管理は本部が一括して行っており、事業所は一時立て替えをし、その後精算している。家族には月1回報告し、3～4カ月に1回原本を確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 グループホームの行事に合わせて家族会を開催し、運営推進会議にも交替で家族が出席しているが、特に意見や苦情などは出ていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。	○	家族からの意見や苦情は、グループホームのサービスの質の向上に欠かせないものであるため、意見が気軽に出来るような雰囲気作りや会の進行等に工夫が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 法人全体で職員の異動が行われているが、出来るだけ小さな規模で影響を少なくするように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 新規採用の場合は、引継期間を一週間取り、他の職員がフォローするように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修情報を提供するとともに法人内で勉強会も行っており、研修機会は一定確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 職員会で報告し、資料はコピーして職員に配布して共有に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 同一法人内のグループホームとの交流は行っているが、他法人の同業者との交流は行っていない。	○	サービスの質の向上のためにも他法人の同業者との交流を期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 医療面で不安な場合は、看護師や栄養士に相談しているが、基本的に管理者が1人で面接している。	○	入居後の生活を直接支援する職員が事前に利用者面接することは、利用者が安心してグループホームで生活を送るために必要なことであり、今後管理者と職員で面接を行って、多面的・多角的に情報収集することを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 利用者が出来ることを大切に、できるだけ一緒に過ごすように心がけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>職員が主導的に動くこともあるが、調理の下ごしらえ、盛り付け、洗濯たたみ、掃除などできるだけ協働できる場面づくりに努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 調理の味付け、野菜の植え付け時期、四季折々の行事、昔の話など教えてもらっている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 十分に聞き取りができない場合、利用者の言葉や表情から推測するなど、把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 利用者の表情や仕草、その日の動きや状況から判断している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 面会時や電話で家族にも聞いている。要望等は少ないものの、介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 短期は3か月、長期は6か月ごとに見直している。</p> <p><input type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 本人の状態の変化に応じて介護計画に追加している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 利用者や家族の状況、ニーズの変化に合わせて、期間の設定を見直している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<input type="checkbox"/> 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々 <sup>の</sup> 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 事例はないが、指針を定め家族にも説明している。  <input type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 通院は職員が支援しているが、ふるさと訪問や墓参りなどの特別な外出・外泊の場合は家族が対応している。	○	通院以外の外出の希望に対応できていないので、本人や家族の状況・要望に応じて、事業所の多機能性を活かした支援を期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<input type="checkbox"/> かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 <input type="checkbox"/> 口頭で受診結果の説明を受け、必要なことは業務日誌に記入し、申し送りしている。		
19	47	<input type="checkbox"/> 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。  事例はないが、看取りについては対応方針を定め、重要事項説明時に同意を得ている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。  事例はないが、看取りについては対応方針を定め、取り組める体制を整備している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。  個人情報の保護については、職員会などで話し合っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。  利用者の買物や散歩の希望に、その都度対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 業務上対応しきれない場合は説明して納得してもらっているが、利用者の生活に合わせている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 献立は、本部の栄養士が作成し、食材も本部から届けられているが、利用者の希望に応じて変更している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は検食分を分け合い、利用者と同じものを一緒に食べるように努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 夜間入浴はできないが、原則毎日入浴するようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  入浴拒否の利用者にはできるだけ声をかけ、入浴しない場合は、清拭、足浴、着替えを行うようにしている。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 介護度の高い利用者が多いため、利用者だけでなく家族からも聞き取りをし、情報把握に努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  調理の下準備や盛り付け、洗濯物たたみ、ゴミ捨て、野菜の世話など、それぞれが役割を発揮できる場面作りに努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 利用者の昔の生活の話や聞くなどして、利用者ができる役割、楽しみを引き出すように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 地理的な制約があるため、散歩はグループホーム周辺で行っている。商店や飲食店などが離れているが、運営推進会議で、利用者個別の対応が必要ではないかとの指摘があった。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 重度化し歩行困難になっても、車椅子を利用して戸外に出るように心がけている。日課に散歩や日光浴を取り入れ、外気に触れる機会を持つようにしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  日常的に散歩や買い物には出かけており、ドライブには季節にあわせて出かけている。	○	周辺は工場地帯で、地域住民の生活圏から離れているという特性や重度化した利用者が多いという状況もあるが、運営推進会議での指摘にもあるように、利用者それぞれの状態や思いにかなう外出は、利用者の気分転換や気持ちを刺激する機会となるので、事業所として積極的に支援することを期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。  地域住民の生活圏は離れているが、警察、消防署、付近の住民には挨拶し理解を求めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地域住民の生活圏が離れているので、グループホームの避難訓練に住民は参加していないが、訓練は法人で実施している。町内会の消防訓練等には職員が参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 ※視認する。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事の摂取総量や水分量はチェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 献立は本部の栄養士が作成しているが、利用者の嗜好に合わせて内容を変更している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 併設施設の栄養士が、専門的な観点で献立を作っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 日当たりのよい居間に大きなソファを置き、利用者が自然と集まれるように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 居間から眺められる庭や畑には、季節の花や野菜が植えられ、居間に集まれば季節感を楽しめる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 ベッドはグループホームの備え付けであるが、鏡台、TV、冷蔵庫、筆筒などは、利用者が思い思いの物を置いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。		